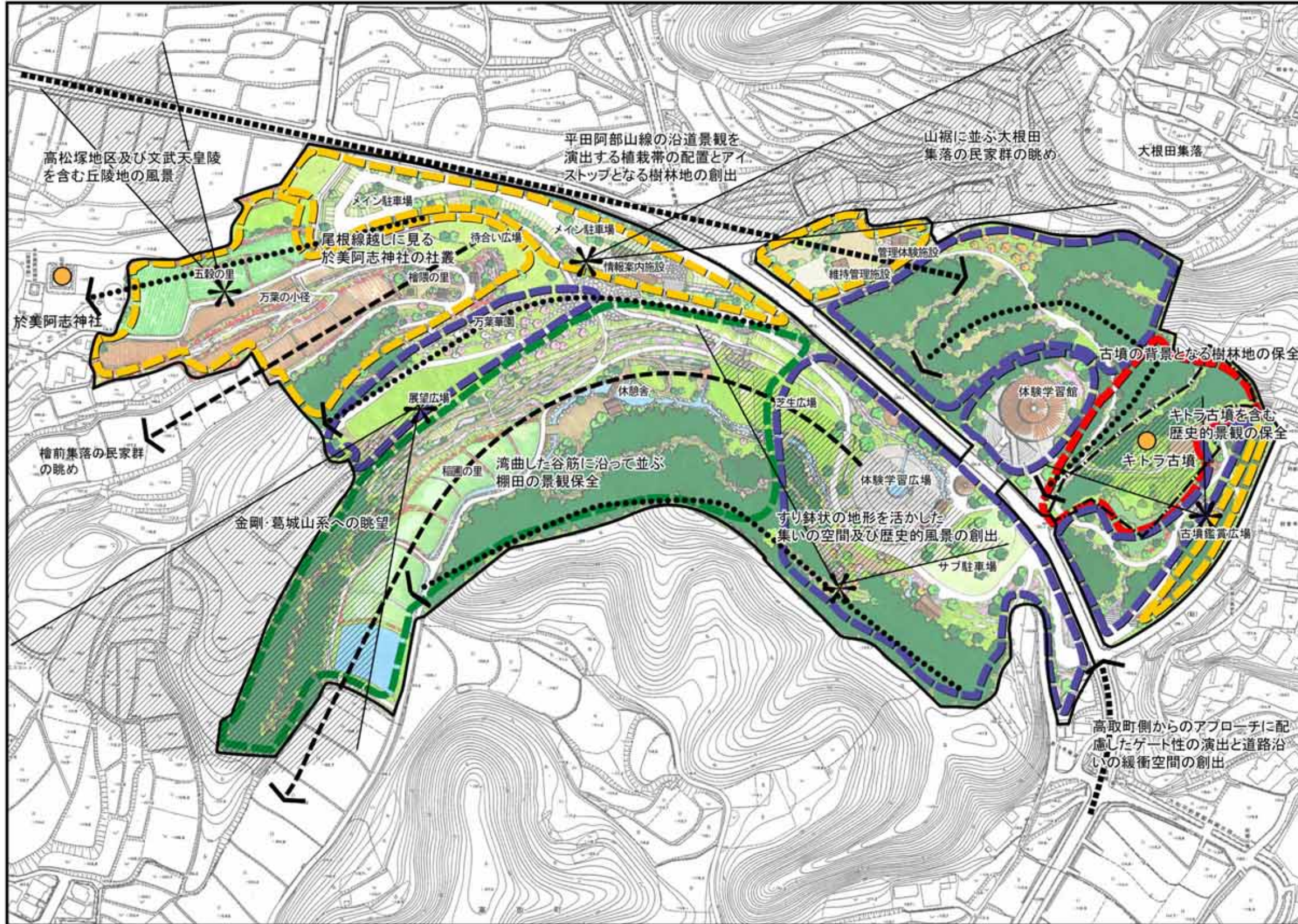


(7) 景観



■景観計画

現況土地利用状況と今後の利用形態から、景観構成及び管理の目標に応じて、以下の4地区に大別し、まとまりのある景観の構成を目指していく。

- 歴史的風景保全型**
：史跡指定区域及びキトラ古墳の背景となる周辺部の風景の保全をおこなう区域
- 歴史的風景創出型**
：往時の植生の再現など、歴史を体感できる風景の創出を図る区域
- 田園風景保全型**
：現況の農地及び耕作放棄等で失われゆく田園風景を基調としながら整備を進める区域
- 田園風景創出型**
：周囲の景観と調和する施設の整備や往時の耕作風景を再現する区域

○空間演出
棚田、造林地、雑木林、水田、畔道、水路、畑地、果樹園、竹林等田園景観を構成する要素毎に木目細かい維持管理を行う。
また、構築物等のデザイン、素材に関しても、公園区域周辺で見られる飛鳥らしさを表現する景観資源を活かし、周辺地域との調和を図る。

□公園区域周辺で見られる飛鳥らしさを演出する景観資源

分類	項目	景観資源
自然的景観特性	地形	尾根線、谷筋、段状地形、檜前川
	農地	棚田、水田、青田、畦、畝、果樹園
	植物	竹林、スギ林、カキ、ヒガンバナ、レンゲ
	遠景	金剛・葛城山系、高取山山系
	近景	高松塚周辺地区
歴史的景観特性	古墳・史跡	キトラ古墳、檜隈寺跡、文武天皇陵
	寺社	於美阿志神社
	集落	檜前集落、大根田集落、農家、石垣
	その他	地蔵、ほこら

- 歴史的風景保全型
- 歴史的風景創出型
- 田園風景保全型
- 田園風景創出型
- 景観の骨格 尾根
- 景観の骨格 谷筋
- 主な視対象
- 主な視点場
- 史跡指定区域

景観計画図(案)

